



JAPAN P&I NEWS

外航組合員各位

中東情勢について（その6）

サウジアラビアのコレスポンデント Mutual Marine Services Al Mushtaraka Ltd.から、米国およびイスラエルによるイラン攻撃に伴う中東情勢に関する2026年3月15日時点までの最新情報を得ましたので、ご案内します。

ホルムズ海峡の状況

現在も閉鎖されています。

各国の港湾状況

アラブ首長国連邦 (UAE) : 全ての港が稼働しています。

オマーン : ドクム (Duqm) とソハール (Sohar) は稼働しています。サララ (Salalah) は閉鎖中ですが、再開の見込みです。

カタール : 各港は稼働しています。

クウェート : 各港は稼働していますが、出入港は極めて少ない状況です。

イラク : 各港は稼働しています。

バーレーン : 操業を停止しています。

サウジアラビア : ペルシャ湾側の全ての港が稼働しています。紅海側の諸港については、現在は影響を受けておらず、通常どおり稼働しています。政府は、紅海側の港と湾岸諸国を結ぶ物流ルートの接続を推進しており、ジェッダ・イスラム港にて「物流回廊プログラム」の立ち上げが宣言されました。

事態は極めて流動的かつ予測困難です。全ての商業的指示に優先して、船員の安全 (Crew Safety) および本船のセキュリティ (Vessel Security) を最優先した行動をとってください。

最新情報が入り次第、随時アップデートを提供いたします。

以上